

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	卒業研究Ⅱ	山口 憲二	2 年次	秋

授業のキーワード	労働経済学、キャリア、経営、仕事、情報化、国際化
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	春学期に続き、大学生に必要な基本スキルを修得するべく、トレーニングを行います。その集大成としてゼミ論を執筆します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	内容的にも春学期の継続であり、最終的にゼミ論を作成する。 毎回全員が発言することを求める。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	春学期のまとめと今後の計画	第 9 講	第 11 章 労働供給と労働時間 (OUTPUT)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。
第 2 講	第 8 章 賃金はなぜ右上がりになるか (INPUT)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 10 講	第 12 章 失業のタイプと解消策 (INPUT)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。
第 3 講	第 8 章 賃金はなぜ右上がりになるか (OUTPUT)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。	第 11 講	第 12 章 失業のタイプと解消策 (OUTPUT)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。
第 4 講	第 9 章 昇進の経済学 (INPUT)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 12 講	第 13 章 労働組合の経済学 (INPUT)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。
第 5 講	第 9 章 昇進の経済学 (OUTPUT)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。	第 13 講	第 13 章 労働組合の経済学 (OUTPUT)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。
第 6 講	第 10 章 差別の経済理論 (INPUT)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 14 講	ゼミ論の作成方法	これまでのレポートからさらに深く特定のテーマを選び、レポートを作成し、製本する。
第 7 講	第 10 章 差別の経済理論 (OUTPUT)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。	第 15 講	まとめ	ゼミ論の発表
第 8 講	第 11 章 労働供給と労働時間 (INPUT)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	評価方法		毎時間の発言、ゼミノート、ゼミ論 (レポート)、ゼミへの貢献により評価する
備考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
卒業研究 I と同じ					